

K A K E G A W A

かけがわ 第3号

市議会
だより

平成17年11月1日

編集／発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷701番地の1 ☎0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

おもな内容 ————— CONTENTS

- 9月定例会の概要 2ページ
- 審議の結果／議案質疑 3ページ
- 一般質問 4ページ
- 委員会スナップ 7ページ
- 傍聴席／12月定例会の予定 8ページ



つくし保育園運動会

スポーツの秋！

10月の青い空の下、

つくし保育園でも運動会が開催されました。

元気いっぱいのかけっこ、お遊戯。

思い出をたくさんつくりました。

9月定例会 各種会計 決算認定

旧1市2町の最終決算審議される

● 各種会計決算状況 ● (単位：円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	掛川市	28,338,218,588
	大東町	9,146,284,032
	大須賀町	6,056,790,888
特別会計 (22会計)	27,287,592,739	26,128,571,182
企業会計 (4会計)	11,824,175,347	11,681,549,768
組合会計 (3会計)	1,593,490,635	1,567,000,029
合計	84,246,552,229	80,617,695,280

平成16年度の旧1市2町の決算議案(32会計)は、一般会計、特別会計、企業・組合会計の3つの決算特別委員会を設置し、審査に付されました。

一般会計決算特別委員会(佐藤博俊委員長)は、9月21、22日の2日間、特別会計決算特別委員会(河住光重委員長)と企業・組合会計決算特別委員会(鳥井昌彦委員長)は9月21日に開催され、審査の結果いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。10月4日の本会議において、各委員長から審査経過及び審査結果が報告された後、すべての決算が認定されました。

平成十七年第三回(九月)定例会が、九月五日から十月四日までの三十日間にわたり開催されました。平成十六年度旧掛川市、旧大東町、旧大須賀町の一般会計・特別会計・企業会計・組合会計決算三十二件、平成十七年度補正予算関係七件、条例関係九件、人事関係二件、その他十七件、意見書三件の合計七十件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり、認定、可決、承認、同意されました。また、陳情一件を不採択とし、議員派遣についてを可決しました。

9月定例会の経過

● 9月5日

本会議(初日) 平成十六年度各種決算、平成十七年度掛川市一般会計補正予算等各議案の市長提案説明及び監査委員の審査説明

● 14日

本会議 一般質問

● 15日

本会議 一般質問

● 16日

本会議 議案質疑、一部議案採決。議案・陳情

常任委員会付託。一般会計、特別会計、企業・組合会計決算特別委員会設置、付託

常任委員会付託議案・陳情審査

● 21日

一般会計、特別会計、企業・組合会計決算特別委員会付託議案審査
一般会計決算特別委員会付託議案審査

● 22日

● 10月4日

本会議(最終日) 決算特別委員会委員長報告、常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決。人事議案提案説明・採決。陳情審査結果報告。意見書採決。議員派遣採決。

議案質疑

○平成十六年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定

問 普通地方交付税の大幅削減による予算執行上の影響は。

答 減債基金、公共施設整備基金の取り崩しを行ったが、市民要望に応えるための予算は繰越金を財源に対応した。

問 創発調査委託料の予算執行状況とその意義は。

答 総額四千九百四十一万九千円の予算執行があり、これは国からの委託金で賄われた。合併による新

たな自治体づくりの指針となるよう、まちづくり生涯学習システム等を政策提言した。

○平成十六年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

問 国保収納率が前年比三〇マイナスであるが、未納者の実態は。

答 滞納者のうち九〇・八％が計画的生活能力欠如者であり、解雇、失職等の生活基盤の崩壊は一・四％、生活困窮者は二七％である。

問 総合健康診断の不用額が多いがなぜか。

答 希望者全員に受診していただくことを考慮し、余裕をみて受診数の予算計上をしたためである。

○平成十六年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

問 介護保険給付費の不用額はなぜか。

答 合併により、三月給付分が三月末日時点で未執行となったためである。

○平成十七年度掛川市一般会計補正予算（第2号）

問 作成された観光案内ビデオの使用、利用先は。

答 今後の大河ドラマ関連事業の観光キャラバン訪問や農産物の販路拡大のための海外市場調査時等に活用したい。

問 防災ラジオ三千台を受注予定しているが、その効果は。

答 防炎ラジオ三台を受注予定しているが、その効果は。

答 本庁、支所より約三kmの範囲内で通常のFM・AM放送受信と市の同報無線の受信が可能なラジオであり、市民の防災意識の高揚にも繋がると考える。

問 河川維持費は、河川の草刈りの危険箇所等の執行に支出できるか。

答 市民要望に緊急に対応する工事費を見込んだもので、河川の草刈りの危険箇所については、袋井土木事務所に要望していきたい。

○平成十七年度、平成十八年度債務負担行為大東図書館・資料館建設事業機械設備工事請負契約の締結

問 日管株式会社掛川支店が落札しているが、指名理由は何か。

答 指名競争入札者選定等委員会の経営審査総合点数の条件をクリアした十六業者で指名競争入札を執行した。

○平成十七年度磁気共鳴断層撮影装置（MRI）購入契約の締結

問 協和医科器械株式会社掛川支店が落札しているが、競争入札をしない理由は何か。

答 医療機器等の購入にあたっては、医療機器等整備委員会が審議し、その検討結果を踏まえ、四業者において見積合わせを行った。その後、市指名競争入札者選定等委員会が審議し、地方自治法に基づき契約を行う。

議案の審議結果一覧

〔決 算〕

●平成16年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度掛川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度天竜市湖沼道経路助成特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度掛川市駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町一般会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度大東町佐東財産区特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度大東町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大須賀町一般会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大須賀町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大須賀町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度大須賀町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度大須賀町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度大須賀町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度大須賀町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度掛川市病院事業会計決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度掛川市水道事業会計決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大東町水道事業会計決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度大須賀町水道事業会計決算の認定	（賛成多数認定）
●平成16年度小笠地区消防組合一般会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度東遠市消防組合一般会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）
●平成16年度大東町大須賀町衛生施設組合一般会計歳入歳出決算の認定	（全会一致認定）

〔予 算〕

●平成17年度掛川市一般会計補正予算（第2号）	（賛成多数可決）
●平成17年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	（賛成多数可決）
●平成17年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	（賛成多数可決）
●平成17年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）	（賛成多数可決）
●平成17年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	（賛成多数可決）
●平成17年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	（全会一致可決）
●平成17年度掛川市温泉事業特別会計補正予算（第1号）	（全会一致可決）

〔条 例〕

●掛川市緑の保全及び緑化の推進に関する条例の制定	（全会一致可決）
●掛川市役所の位置に関する条例等の一部改正	（全会一致可決）
●掛川市税条例の一部改正	（賛成多数可決）
●掛川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	（全会一致可決）
●掛川市清掃センター条例の一部改正	（全会一致可決）
●掛川市火災予防条例の一部改正	（全会一致可決）
●掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	（全会一致可決）
●掛川市非常勤消防団員に係る退職給付金の支給に関する条例の一部改正	（全会一致可決）
●掛川市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例の廃止	（全会一致可決）

〔一 般〕

●東遠地区広域市町村圏協議会を設ける普通地方公共団体の数の減少及び規約変更	（全会一致可決）
●東遠広域施設組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約変更	（全会一致可決）
●平成17年度～平成18年度債務負担行為大東図書館・資料館建設事業建築主体工事請負契約の締結	（全会一致可決）
●平成17年度～平成18年度債務負担行為大東図書館・資料館建設事業電気設備工事請負契約の締結	（全会一致可決）
●平成17年度～平成18年度債務負担行為大東図書館・資料館建設事業機械設備工事請負契約の締結	（全会一致可決）
●平成17年度農業集落排水事業大内地区処理施設機械設備工事請負契約の締結	（全会一致可決）
●平成17年度磁気共鳴断層撮影装置購入契約の締結	（全会一致可決）
●平成17年度車両整備事業水防ポンプ自動車購入契約の締結	（全会一致可決）
●平成17年度車両整備事業救急工作車購入契約の締結	（全会一致可決）
●平成17年度車両整備事業小型動力ポンプ付水櫃車購入契約の締結	（全会一致可決）
●22世紀の丘公園（仮称）コミュニティ施設建設工事委託契約の締結	（全会一致可決）
●町の区域の変更（青葉台地区）	（全会一致可決）
●町の区域の変更（旭台地区）	（全会一致可決）
●字の区域の変更（八坂地区）	（全会一致可決）
●字の区域の変更（伊達方地区等）	（全会一致可決）
●掛川市道路線の認定	（全会一致可決）
●専決処分の承認を求めること（平成17年度掛川市一般会計補正予算（第1号））	（全会一致承認）

〔人 事〕

●人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	（全会一致同意）
●掛川市大坂825番地の4 島井とめ	
●掛川市収入役の選任	（全会一致同意）
●掛川市中央高町50番地 山本君治	

〔意見書〕

●「自治体病院の医師確保対策を求める意見書」の提出	（全会一致可決）
●「発達障害児（者）に対する支援促進を求める意見書」の提出	（全会一致可決）
●「住民基本台帳の閲覧制度の早期見直しを求める意見書」の提出	（全会一致可決）

〔陳 情〕

●「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情	（不採択）
--------------------------------------	-------

◆質問事項は
〔行財政・広域問題〕

・入札制度の改革
・市職員の適性数
・天竜浜名湖鉄道
・消防・防災対策
・掛川市の財政
・三役人事
・国際交流
・在留外国人問題
・生涯学習
・非核平和都市宣言
・自治基本条例
・合併関連
・行財政改革
・予算
・市長相談日
・市長の政治姿勢
・浜岡原発と防災対策

(二人)
(二人)
(二人)

◆〔商工労・農林問題〕

・農業政策
・農地整備事業
・中心市街地活性化
・観光振興
・茶業ビジョン
・建設・土木問題
・西環状線と県道掛川天竜線
・下水道事業
・水道事業
・大雨対策
・下小笠川・小貫川の改修
・自然災害対策

(二人)
(二人)

◆〔教育・福祉問題〕

・学校二学期制
・少子化問題
・教育問題
・高齢者支援策
・保健・環境問題
・海岸保安林の松食い虫対策
・アスベスト対策

(二人)
(四人)
(二人)

一般質問について詳しくお知らせになりたい方は、市役所ホームページの市議会会議録をご覧ください。九月定例会の会議録は、十二月上旬に掲載を予定しています。

一般質問



●質問部分は、質問者本人が作成しました。

健全財政維持

八木宏之
(親和会)

Q 旧掛川市では「夢と理想」を求めて他に先駆けた特色ある政策が展開され、一方ではこれが足かせとなつて市の台所事情が心配される。

市長は「六月議会で掛川市の財政は非常に心配だ、精査してみる」とのことだったが結果を伺う。

A 旧掛川市では、社会資本の充実、全国に例のないまちづくりに励み、将来に生きたお金の使われ方をしてきた。今後は監査委員の指導を得て、財政上の問題を

行財政改革

東堂陽一
(親和会)

正常な形に戻すよう努めるが、学校の耐震補強など、必要なことは財政負担が伴っても計画に盛り込んでいきたい。できる限り節約に努め、借入金を少なくしていきたい。

Q 合併効果の一つである今後十年間の職員数の削減策に対する実現性と市長の決意。総人件費削減策への対処、職員の士気の高揚をどう図るか市長の考えを伺う。

A 行革については毅然とした態度で、四年間の任期中、

幼保再編計画

水谷陽一
(日本共産党)

進めていく。退職職員を百％補充しないことによって、職員数削減と、十年間で二十八億六千万円の人件費削減を図る。また、明るいあいさつの励行が、市職員の士気の高揚につながると思っている。

Q 幼稚園、保育園の統廃合が進んでいるが、規模を大きくした弊害も生まれている。新設園への国の補助金が削減される現在、百十五年の歴史ある掛川幼稚園や入所希望の多い公立保育園を閉じてしまっているのか。改めて「再編計画」を再考すべきと思うが、市長の見解を伺う。



掛川幼稚園



東京研修

8月4、5日に議員全員
東京研修を行いました。

研修会

- ◎世界の経済、日本の経済はどうなる
講師 静岡総合研究機構理事長 竹内 宏氏
- ◎最近の教育行政・観光関連施策の概要
講師 国土交通省大臣官房審議官 大西珠枝氏

視 察

- ◎NHK放送センター
- ◎東京女子医科大学病院



自治基本条例の 策定

戸塚久美子
(みどりの会)

Q 合併や行政改革を行う都市（政令・市町村）が制定しはじめて「自治基本条例」を本市でも策定すべきではないか。本市の基本理念・自治運営のあり方を

A 私が市長に就任する前から、旧掛川市には幼保再編による八園計画があった。（仮称）南部幼保園・西部幼保園・原谷幼保園はもう立ち上がっており、この三園は来年度新規に要望を出したい。その後は、まだ時間もあるのでそれが本当に妥当であるか一園ずつ状況を見て回り、議会にも相談したい。

中心市街地の再生

松井俊二
(親和会)

Q 中心市街地の再生という重要性を踏まえ、今後どの

A 全国で自治基本条例に対する取り組みを始めた都市が多くなってきた背景として、地方分権改革の進展によるところが大きいと考えられる。この条例は、行政、議会、住民、それぞれの立場で基本条例をつくるということであるので、まず議会と行政が勉強会等を開き、この基本条例について知識を高め、研究を深めていきたい。

二期制実施

豊田勝義
(親和会)

Q 二期制検討委員会報告書に「ゆとりある教育」と

A 今年度、複数の構想案へのヒアリング作業を進めながら、構想を絞っていききたい。平成十八年度に事業計画の策定、平成十九年度に実施設計、平成二十年度事業着手との目論見を立てている。整備区域や整備手法、権利者の意向、資金力など、現時点では不確定要素が数多くあるので、今後の社会経済状況などを総合的に判断して考えていく。



中町商店街



二期制を行っている原谷小学校

あるが今一度、二期制導入について旧掛川市全小中学校の取り組みへの意気込みを伺う。

一市二町合併に伴う旧大東、旧大須賀の小中学校の二期制への取り組み、実施計画について伺う。

A 二期制は学校をより魅力あるものに変える一つの起爆剤であり、各学校では、子ども達によりよい教育課程を編成していくという気運が高まり、今まさに教育改革に向けて取り組んでいる。

昨年度から大東、大須賀地区でも検討会で研究を進めており、来年度からは市内三十二全小中学校で二期制を実施する予定である。

職員の適正数

内山周則
(かけわ21)

Q

職員の適正数について、合併協議会でも職員・人件費の削減は数値で求められたが、市民の生命財産を守る消防職員が、県下平均を大きく下回っている現状をいかに考えるか。

A

九十五名の現状を維持したのは、この職が非常に必要であるからであり、もし、状況が許されるなら、消防職員数を増やしたいという気持ちもある。しかし、今の行革の流れには勝てない。



業務にあたる消防職員

二学期制の評価

桑原百合子
(みどりの会)

Q

十六年度から二学期制の研究試行している小中学校の成果はどうであったか。今後の取り組みの予定について、市民に早めに公表すべきではないか。保護者や教職員の声が引き出せるような工夫がされているか。

A

二学期制により、多くの学習時間を確保でき、余裕を持つて学習活動が展開できる、心のゆとりが生まれる等のメリットがある。心配された長期休業前の評価は、面談を取り入れて課題と評価を伝えている。平成十八年度からの二学期制実施については、広報でお知らせしたい。二学期制のメリット、デメリットを各小中学校にアンケートすることは、今後検討していきたい。

在留外国人問題

狩野 恒
(親和会)

Q

増加する在留外国人との異文化摩擦解消に企業を含む関係者による共生策の構築を。

A

市民と外国人住民が互いに理解を深め、共生社会の

可決された意見書 (要旨)

自治体病院の医師確保対策を求める意見書

昨年4月から実施されている新たな医師臨床研修制度の必修化に伴う大学による医師の引き揚げや医師の地域偏在、診療科偏在等により、地域医療を担う医師の不足が深刻化している。

このような医師不足は、全国的な問題となっており、各自治体は、医師確保に向けて、懸命の努力を続けているが、大変困難な状況にあり、地域医療の確保・継続が危ぶまれている。

よって、国におかれては、都道府県、大学、学会、医師会等との連携のもと、早急に抜本的な医師確保対策を講じられるよう強く要望する。

(提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

発達障害児(者)に対する支援促進を求める意見書

平成16年12月に発達障害者支援法が制定され、本年4月から施行されたが、この法律には、国及び地方公共団体の責務として、発達障害の早期発見や支援などについて必要な措置を講ずるよう示されている。

よって国においては、下記の項目を早急に実施するよう、強く要望する。

記

- 1 各市区町村が関係機関と連携して支援体制を整備する際には、財政支援を講じること
- 2 発達障害の早期発見に向けて、乳幼児健診の充実と新たな健診制度(5歳児健診)を確立すること
- 3 発達障害児の支援促進のため保育園・幼稚園・学校・福祉関係者・保護者に発達障害児への理解の普及に努めること
- 4 小中学校における発達障害児教育推進のため特別支援教育への支援を図ること
- 5 発達障害者のための就労支援として雇用システムの構築を図ること

(提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

住民基本台帳の閲覧制度の早期見直しを求める意見書

本年4月から個人情報保護法が施行されたにもかかわらず、市町村の窓口において住民基本台帳を、原則として誰でも閲覧できる状況にあり、早急に検討・是正すべき課題である。

さらに、最近では閲覧制度を悪用した悪徳商法など不幸な犯罪が発生しており、閲覧制度が住民の権利を著しく侵害している。住民を保護すべき自治体としては、現行の閲覧制度のもとでは、こうした事態への対応は極めて困難である。

よって国においては、住民基本台帳法に「何人でも閲覧を請求することができる」と規定されている閲覧制度を、原則として行政機関等の職務上の請求や世論調査等の公益に資する目的に限定するなど、抜本的改革を早急に講じること。

(提出先：内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長)

農業経営対策

内藤澄夫
(親和会)

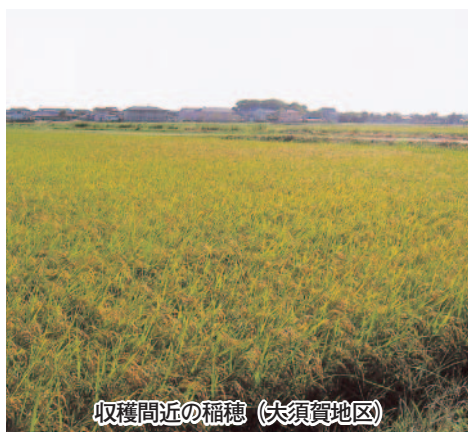
Q

現在、農業経営を圧迫しているのは、農機具等の購入費や償却費であると言われている。この救済策として、農業機械公

て、市行政の総合的説明会の開催を予定している。

自然災害対策

高塚昌彦
(親和会)



収穫間近の稲穂 (大須賀地区)

Q

地球温暖化が進み、各地で自然災害が多発している。

A

社を設置する考えはあるか。また、農業後継者問題について、離農した跡地に企業誘致と同じ様に、農業をしたい人を誘致する方策はないか。

機械公社については、一部似たようなことを掛川市農協で行っている。全市域でできないか、早速詰めていく。今後の農業のあり方の一つとして、農業法人そして集落の営農組織など、地域全体の農業を守る担い手の育成に努めなければならぬ。国の方針を注視しつつ、今後の農業経営安定化に取り組んでいきたい。



下小笠川

A

国土交通省では今の天井川の状態を抜本的に改修することは、現状ではできないとのことであるが、今年、来年でつくられる整備計画が整えば中流部にも予算が振り向けられる可能性が出てきた。治山の問題は、下小笠川の改修問題と合わせて整備計画の中で考えていただけるよう国に願う。

核兵器廃絶 平和都市宣言

鷺山喜久
(日本共産党)

Q

アメリカによって、広島、長崎に原爆が投下されて六十年である。現在合併によって失効している「戦争と平和の百年生涯学習決議」「核兵器廃絶平和都市宣言」を、新市に提案する考えはないか。

世界の平和のために、核兵器の運動はとても大事だと思っている。大小の国を問わず、地球上からいかなる核兵器も廃絶す

A

委員会 スナップ

★総務委員会★

7/26~28

- 北海道夕張市(「マウンテンシティ計画」、企業誘致)
- 北海道小樽市(財政再建プラン、ごみの減量化・有料化)
- (有) 町村牧場(バイオガスパラント)

総務委員会が行政視察
に行ってきました。



北海道小樽市



べき、というのが信念である。ただ、この宣言については、一時的に提案すべき問題ではないので、来年の三月くらいまでに、議員各位、いろいろな方々の意見を聞いて、皆の合意が得られるのであれば、前向きに検討したい。

議会日誌

七月

22日○新・市立総合病院問題特別委員会

26日○総務委員会行政視察

八月

1日○東遠地区聖苑組合議会

2日○文教厚生委員会協議会

3日○総務委員会協議会

4日～5日○議員全員東京研修

6日○掛川市合併記念式典

12日○東遠学園組合議会

15日○経済建設委員会協議会

○掛川市戦没者追悼式

17日○南北幹線道路網調査検討特別委員会

19日○子育て支援・少子化対策特別委員会

○東遠広域施設組合議会

22日○小笠老人ホーム施設組合議会

23日○市議会全員協議会

25日○議会だより編集委員会

26日○大井川右岸土地改良区理事会

○掛川市・菊川市衛生施設組合議会

29日○議会運営委員会

30日○新・市立総合病院問題特別委員会

傍聴席

大須賀町民だった私が、新掛川市民となり、自分の住む街にはどんな人達が暮らし、どんな処があるのか興味を持ちました。そんな折「とはなにか学舎」の募集があり、受講生となりました。様々な方が参加されており、その中で仲良くなったお友達に誘われ、九月十四日に市議会を傍聴したのです。

傍聴席には、定員よりもたくさんの方が訪れていました。議場は円形で、私達からは、議長はじめ市当局、議員全員の顔が良く見え、とても開かれた感じがしました。議題は、下小笠川のこと、津波対策、九月一日の防災訓練への市民の参加があまり

にも少ないこと、教育事務所の枠組再編、小中学校が十八年度から二期制になりそうなことなど、初めて聞くことも多く驚きの連続でした。様々な質問、答弁がありました。一市民の私にも解り易く、あつという間にお昼休憩となりました。昼食は市役所の食堂でとりましたが、皆さんと並んで市長さんがいらつしやるサブライズがあり、市長さんの気さくな一面にふれることができました。市役所内は、吹き抜けで事務室が良く見通せ、職員が仕事をしている姿を垣間見ることができ、いい経験でしたし、また機会があれば出掛けたいと思います。

大淵 鈴木 玲子
(九月定例会傍聴者数 二百六十八人)

31日○県市議会議員研修会

九月

5日～10月4日○掛川市議会第三回

(九月) 定例会

16日○総務委員会協議会

○経済建設委員会協議会

20日○子育て支援・少子化対策特別委員会

委員会

27日○新・市立総合病院問題特別委員会

員会

○大井川右岸土地改良区臨時理事会

○議会だより編集委員会

29日○南北幹線道路網調査検討特別委員会

委員会

十月

4日○文教厚生委員会協議会

7日○議会だより編集委員会

掛川市議会ホームページには、市議会に関するいろいろな情報を掲載しています。どうぞお気軽に、市役所ホームページ <http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp> のトップページよりアクセスしてください。詳しくは、掛川市議会事務局へお問い合わせ下さい。
電話 21-1160

12月定例会の予定

12月

1日 本会議(議案の提案)

12日 本会議(一般質問)

13日 本会議(一般質問)

14日 本会議(一般質問・質疑、一部採決、請願・陳情)

15日 常任委員会

16日 常任委員会協議会

22日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

編集後記

「議会だより」だから、それらしく編集していきたい。この「・・・らしく」が曲者で、業界用語の掲示板になりかねない。二度、三度にわたる編集会議の成果が、内容面で成長したと評価を受けるよう、これからも苦戦することになる。

編集委員長 高木

